

千葉県中小企業団体中央会 会長

平 栄 三



明けましておめでとうございます。平成29年の新春を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。昨年、熊本、鳥取、福島での相次ぐ地震、北海道や東北地方を襲った台風・豪雨等日本の各地で大規模な自然災害に再び見舞われ、日頃の防災意識の徹底を再認識する一年となりました。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年の我が国経済は、年前半の円高・株安が後半には円安・株高に転じましたが、この数年、世界経済を牽引してきた新興国の景気減速が鮮明となる中で、一部報道においては、デフレ懸念が指摘されるなど、今後不安が残るものとなります。

こうした中、政府は、アベノミクスによる一億総活躍社会の実現に向けて、「希望を生み出す強い経済」「夢をつむぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」という新・三本の矢を打ち出しました。そして、これらの経済政策を具体化すべく「未来への投資を実現する経済対策」を閣議決定しました。この経済対策には、アベノミクスを一層加速させるため、中小企業向けの資金繰り支援や経営力強化・生産性向上支援等を行うほか、地方創生の推進等も盛り込まれています。

また、今後を占う意味においては、英国のEU離脱に端を発した欧州の政情不安や米国の大統領の発言等が与える影響についても注視していく必要があります。

このように、我々中小企業を取り巻く社会・経済環境は、依然として厳しく、先行きの不透明感を払拭できない状況にあります。

実施しております。例えば、ものづくり・商業・サービスの分野で革新的な取り組みにチャレンジする中小企業・小規模事業者に対しましては試作品・新サービスの開発や設備投資等に要する経費の補助、また、若者・女性・外国人・シニア等の多様な人材と地域の中小企業とのマッチング等を行う事業も実施しております。さらに、個別企業に視点を置いた支援だけでは高度化・多様化する新規事業開発に限界があるため、異業種も含めた新たな提案型の企業連携グループの育成を通じて、優れた技術の組み合わせによる新製品の開発を促進し、新たな価値の創出や受注機会の拡大などを図るための支援にも取り組んでおります。

今後、これらの事業を積極的に実施することにより、組合等連携組織の活性化を図り、それによって組合員企業が活力ある発展を遂げられますよう、支援機関としての役割を果たすべく決意を新たにしているところでございます。

結びに、本年が会員組合の皆様にとりまして、希望に満ちた一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。



千葉県知事

森田 健作

明けましておめでとうございます。

千葉県中小企業団体中央会並びに会員企業の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年、3回目となる「ちばアクアラインマラソン2016」を開催し、今回から正式種目となった車いすハーフマラソンを含め約1万6千人のランナー、そして、前回を超える36万人もの沿道応援者に参加いただき、本県の魅力とおもてなしの心を、国内外に発信することができました。皆様には、日ごろから本県経済の活性化や地域振興に御理解、御協力をいただいていますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、本県が今後ますます発

展を遂げていくためには、社会基盤の更なる整備が不可欠です。

訪日外国人数が毎年過去最高を更新する中、我が国の表玄関である成田空港の役割はますます増大しており、こうした成田空港のポテンシャルを県経済の活性化につなげることが重要となっています。また、今後も増大が見込まれる首都圏の航空需要に対応するため、成田空港の更なる機能強化が提案されており、県としても、地域の意見を真摯に受け止め、関係機関と協議をまいります。

東京外かく環状道路と成田空港を最短で結び地域経済の活性化に資する北千葉道路のうち、県が施行している印西市若萩・成田市北須賀間の4.2キロメートルについては、今年、開通いたします。来年度開通予定の外環道千葉区間に加え、北千葉道路、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の未開通区間について、1日も早い開通に向けて取り組んでまいります。

県経済の活性化については、「第3次ちば中小企業元気戦略」に基づく中小企業・小規模事業者支援策の推進や、健康・医療等成長産業の振興等に取り組んでいます。また、整備が進んでいる茂原市と袖ヶ浦市の2つの工業

団地については、今年から順次入札を始めることとしており、引き続き戦略的な企業誘致の推進に取り組んでまいります。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた様々な取組もさらに加速していきます。昨年12月には、東京オリンピックのサーフィン競技の会場が一宮町の釣ヶ崎海岸に正式に決定しました。

3年後の開催に向けて、各競技のジュニア選手や障害者アスリートの育成強化を図るとともに、大会に参加する選手・関係者、国内外からの観光客へのおもてなしの体制づくりや交通ネットワークの充実などに「オール千葉」体制で積極的に取り組むことで、本県の一層の発展につなげ、その効果を次世代にしっかりと引き継いでいきます。

本年も、首都圏、そして日本をリードし、県民が「くらし満足度日本一」を実感し、次世代に誇れる「日本一の光り輝く千葉県」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

結びに、千葉県中小企業団体中央会のみならずの御発展と、会員企業の皆様の御活躍をお祈り申し上げます。年頭のあいなさつといたします。

全国中小企業団体中央会 会長

大村 功作



明けましておめでとうござい
ます。平成29年の年頭に当たり、謹
んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成28年を振り返りますと、英
国のEU離脱表明、米国のトラン
プ氏の大統領選の勝利など様々な
事象による国際経済の不透明感が
増す中、国内では、少子高齢化・
人口減少による国内市場の縮小と
実需全体の収縮や、熊本、鳥取、
福島での相次ぐ地震、北海道や東
北地方を襲った台風・豪雨による
天災などもあり、多くの中小・小
規模事業者は、非常に厳しい経営
を余儀なくされ、景気回復の実感
が得られない年でした。

他方、中小企業等経営強化法の
施行、消費税法の改正による引上

げの実施時期と複数税率制度導入
の延期、TPP協定整備法の成立、
IoTやAIをはじめとするデジ
タル化など、中小・小規模事業者
を取り巻く環境は、想像を超える
速さで変革しています。

政府は、「ニッポン一億総活躍社
会」を閣議決定し、安倍総理の強
いリーダーシップの下、「働き方改
革実現会議」等において、同一労
働同一賃金などの非正規雇用の処
遇改善、賃金引上げと労働生産性
の向上、長時間労働の是正、転職・
再就職支援、人材育成などの改革
に取り組んでいます。私も同会
議のメンバーとして意見を申し上
げてきたところです。人手不足が
深刻化していますが、元気な中小・
小規模事業者は、多様な人材を育
成し、活用していることを実感し
ています。

こうした中、昨年10月19日に石
川県金沢市のいしかわ総合スポー
ツセンターで開催した第68回中小
企業団体全国大会では、組合の力
に改めて意識を集中し、中小企業
の生産性向上の底上げと、本業の
稼ぐ力の強化に向けて全力で取り
組むことを確認いたしました。ま

た、11月29日には、安倍総理をは
じめ多数の来賓をお迎えし、創立
60周年記念式典を開催することが
できました。人間で言えば「還暦」
であり、平成29年は、新たなスター
トを切るつもりで、諸課題の解決
に全力で取り組んで参ります。

まずは、組合の付加価値拡大へ
の支援です。「ありきたり」の組
合活動では価値はありません。組
合の先（組合員）の先（顧客）の
先にあるニーズを把握して、組合
ならではのサービスの提供を図っ
ていくことが大事です。また、組
合事務局の事業承継も急務と考
えています。地域社会との連携・絆
を深め、地域の経済を支え、挑戦
する中央会としての存在感を高め
ていきます。

本年が、中小企業組合と中小・
小規模事業者にとって充実した1
年となりますことを心よりご祈念
申し上げます。年頭に当たって
のご挨拶とさせていただきます。

平成29年元旦



株式会社商工組合中央金庫
千葉支店長

中島 秀記

平成29年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年のわが国経済は、雇用環境や企業収益の改善による内需中心の回復が期待されていましたが、世界経済の減速懸念や金融市場の動揺を受け、回復には停滞感がみられました。中小企業の景況感を商工中金の「中小企業月次景況観測」で見ますと、景況判断指数は好転・悪化の境目である50をやや下回る水準で一進一退の動きとなりました。また、10月調査において人手不足が調査開始以来の最高値を記録するなど、中小企業の人手不足感が高まっており、今後

も労働需給の逼迫による人件費負担の増加等が懸念されます。

このような環境のもと、商工中金は第三次中期経営計画の2年目として、昨年4月の熊本震災や東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまや、デフレの影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組みでまいりました。そして、こうした取り組みを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に貢献できるよう努めてまいりました。

中小企業の皆さまの企業価値向上に関しましては、ものづくり補助金の情報提供等、国の設備投資促進のための施策と連携するとともに、地域金融機関と協調しながら、地域経済への波及力が高い中核企業に対する「地域中核企業支援貸付制度」や戦略的な海外展開を行う中小企業に対する「グローバルニッチトップ支援貸付制度」により、リスキマナーを供給してまいりました。

再生支援については、各支援機関との連携を一層強化し、能動的かつ抜本的な再生支援を行う他、業況が改善しているお取引先に対して、金

融取引の正常化とその後の成長支援に取り組みでまいりました。

商工中金としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となって中小企業と中小企業組合の皆様の成長、再生支援等に全力で取り組みます。こうした取り組みを、千葉県をはじめとする各地方公共団体、地域金融機関、千葉県中小企業団体中央会等の地域の各機関と幅広く連携しつつ、地域経済の活性化に貢献してまいります。

そして、「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。